



日本共産党衆議院議員
塩川鉄也さん
に聞く

カジノ問題次々明らか

事業者が歯止めなく賭け金貸し付け

【しんぶん赤旗・日曜版】6月17日付・4面より

米の要求丸のみ法案

政府・与党が今国会で成立を目指すカジノ実施法案。短時間の審議で採決を強行するなど論外です。衆院でのわずかな審議でも次々と問題点が明らかになっています。衆院内閣委員会で政府を厳しく追及している塩川鉄也議員に聞きました。

世論調査では国民の6～7割はカジノ解禁に反対しています。ギャンブル依存症や多重債務者が増加し、生活破綻や治安悪化が懸念されるからです。

人の不幸で収益

そもそもカジノは刑法で禁止された「賭博」という犯罪です。民間事業者が設置・運営し、もうけを追求する民設民営の「賭博」を解禁するのは戦後初めてです。国会の参考人質疑でも「人の不幸を最大化することで収益を上げる」（鳥畑与一静岡大学教授）ものだと強く反対す

る意見ができました。賭博の合法化を「成長戦略」とすることに国民の理解は得られません。

審議を通じて明らかになった重大な問題点の一つは、カジノ事業者が客に賭け金の貸し付けができることです。公営ギャンブルやパチンコではありえません。客は賭博資金を借り、負ければ取り戻そうとさらに借りる。過剰貸し付けへの歯止めもなく、多重債務が確実に増えます。会社の資金106億円を使い込み、実刑判決を受けた大王製紙元会長は、借り入れをきっかけにカジノにのめりこみました。

二つ目は、カジノ施設の面積の上限値による規制を外したことです。当初は、依存症対策のために「1万5千平方メートル」という上限値でもカジノの面積を規制するとしていましたが、“事業者のビジネス計画を縛りたくない”ということで、外されました。重大な後退です。

三つ目は、カジノを規制する「カ

ジノ管理委員会」がカジノを推進する機関になりかねないことです。管理委員会の経費はカジノのもうけから充てる仕組みになっています。石井啓一IR（統合型リゾート）担当相は“管理委員会の事務局にはカジノの実態を知る人を任用することもある”と答弁しました。規制するどころか、カネも人もノウハウもカジノ事業者に依存する“カジノ推進機関”になってしまいます。

徹底審議が必要

カジノ法案の背景にあるのは、米

国カジノ企業の要求です。事業者による貸し付けやカジノ面積拡大の要求は、在日米国商工会議所が意見書に盛り込んでいたものです。

昨年2月にワシントンで開かれた日米首脳会談の際（米国の経済団体による安倍首相を歓迎する朝食会では、米側の企業参加者14人のうち3

人がカジノ企業のトップでした。

首相はその場で“カジノを推進するための法律をつくったと報告した”と私の質問で明らかにしました。

条文が200を超える新法は介護保険法以来です。そのときの審議は3国会にわたり、審議時間も50時間を超えました。それを下回らない十分な審議が必要です。

日本共産党と立憲民主、国民民主、自由の各党、無所属の会は徹底審議を求める共同の取り組みを進めています。野党共同の要求事項をまとめ、記者会見を繰り返し開くなど、かつてない国会共闘が進展していません。徹底審議で問題点を明らかにし、廃案に追い込むために力をあわせて頑張ります。



記者会見する（左から）玉城（自由）、川（無所属）、阿部（立民）、稲富（国民）、塩川（共産）の各議員12日、国会内

米朝首脳会談

「対立から対話へ」「世界平和の転換点に」

トランプ米大統領と北朝鮮の金正恩（キムジョンウン）委員長は、12日、シンガポールで、両国の歴史上始めて、直接会談しました。

両首脳は何度も握手をかわし「朝鮮半島の完全な非核化」と「北朝鮮に対する安全の保証の提供」を米朝が相互に約束する共同声明に署名し、朝鮮半島における永続的な平和体制の構築にむけて協力する「新しい米朝関係」を確立することを表明しました。

「朝鮮半島の完全な非核化」が焦点になった今回の会談、朝鮮半島のみならず世界の平和に貢献する世界的な転換点となることが期待されます。

トランプ米大統領と北朝鮮の金正恩（キムジョンウン）委員長は、12日、シンガポールで、両国の歴史上始めて、直接会談しました。



歴史的な米朝首脳会談を心から歓迎

日本共産党

日本共産党の志位和夫委員長は12日「歴史的な米朝首脳会談を心から歓迎する」とした談話を発表しました。

「南北首脳会談と米朝首脳会談によって開始された平和のプロセスが成功をおさめるならば、世界史の一大転換点となり、地域の情勢を一変させるものとなるだろう。」と述べ、日本共産党は、そのためにあらゆる努力を続けるとしています。

9

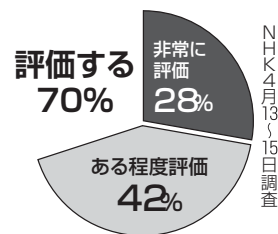
生命力を発揮

条



「よその国と争いごとがおこったとき、けっして戦争によって…じぶんのいいぶんをとおそうとしない」。憲法施行後に全国の中学1年生に配られた『あたらしい憲法のはなし』では、紛争の平和的解決をうたった憲法9条をこう説明しました。北朝鮮の核・ミサイル問題をめぐる対話解決の動

憲法9条をどう評価するか



きは、9条が生きて力を発揮していることを示しています。

いま必要なのは憲法を変えることなく、憲法を生き北東アジアの平和と安定を実現する積極的な外交努力を行うことです。

日本共産党



梅村さえこ
参院比例予定候補



伊藤 岳
参院埼玉選挙区
予定候補



大内くみこ
参院茨城選挙区
予定候補



伊藤たつや
参院群馬選挙区
予定候補

憲法生かした平和外交を